

彰往考来の
ここに学ぶ



第39回建築士事務所全国大会 [茨城大会]



彰往考来の ここに学ぶ



弘道館（正庁・至善堂）：水戸藩9代藩主徳川斉昭が天保12(1841)年に創設した、日本最大規模の藩校。15歳以上の藩士子弟を教育し、水戸学の尊王攘夷思想を広めるとともに、実用主義の立場から西洋医学も取り入れた。明治元（1868）年の内戦で文館・武館・医学館などが焼失。昭和20(1945)年には戦災で鹿島神社・孔子廟・八卦堂などが焼失。昭和38(1963)年に大修理及び一部復元が完了し、翌年、正門・正庁・至善堂が国指定重要文化財に。平成23(2011)年の東日本大震災で被災するが、3年がかりの修復工事を経て昨年3月に一般公開を再開。

彰往考来の ここに学ぶ



JR常磐線日立駅：水戸市からおよそ50km北上したところにある日立市に平成23(2011)年に完成した駅舎。監修は、日立市を生まれ故郷とする妹島和世氏。ガラスを多用した駅舎と自由通路からは太平洋とその先の水平線が一望でき、海に向かって延びる自由通路の先端にはまるで海に浮かぶような形でレストランが収まる。東日本大震災発生時には工事中であったが、奇跡的に大きな被災を免れた。完成以来、多くの市民が訪れるほか、観光客でにぎわう日立市の新たなシンボルとなる。妹島氏は現在、日立市新庁舎の設計にも携わっている。

「茨城大会」

平成27年10月16日(金)
茨城県立県民文化センター

主催 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会

主管 一般社団法人茨城県建築士事務所協会

協賛 一般社団法人栃木県建築士事務所協会／一般社団法人群馬県建築士事務所協会
一般社団法人埼玉県建築士事務所協会／公益社団法人千葉県建築士事務所協会
一般社団法人東京都建築士事務所協会／一般社団法人神奈川県建築士事務所協会
一般社団法人新潟県建築士事務所協会／一般社団法人長野県建築士事務所協会
一般社団法人山梨県建築士事務所協会

後援 国土交通省／茨城県／水戸市／公益社団法人日本建築士会連合会
公益社団法人日本建築家協会／一般社団法人日本建築学会
一般社団法人日本建設業連合会／一般社団法人全国建設業協会
一般社団法人茨城県建築士会／一般財団法人茨城県建築センター

目次

5	大会テーマ・大会スローガン・大会宣言	27	平成27年度 日事連建築賞
6	ご挨拶	43	招待者名簿
14	大会プログラム	46	運営組織図
16	会場案内	48	第41回建築士事務所全国大会 (和歌山大会)へのいざない
18	対談	50	全国大会の歩み
20	基調講演	58	協賛団体・協賛事務所
22	おもな展示・販売・アトラクション	61	マップ
24	表彰		

「大会テーマ」

復興の^{よろこ}び

東日本大震災から間もなく4年半を迎えます。茨城県においても多くの地域で被災しましたが、震災という苦難を乗り越え、元の姿に戻りつつあります。しかし、東北3県は勿論のこと、被災地では現在でも多くの人々が苦しみ、元の生活に戻れない状態が続いています。その中で、全国の会員が集う茨城県から、被災地の復興を祈り願い、そして叶うという思いを込めて「復興の^{よろこ}び」を茨城大会のテーマとしています。

「大会スローガン」

彰^{しょう}往^{おう}考^{こう}来^{らい}の^こころ^らに^いる^らに^まな^まぶ^ぶ

「彰考」とは、第二代水戸藩主の徳川光圀が修史局「彰考館」の命名に用いた語であり、孔子が編纂した『春秋』の代表的な注釈書のひとつである『春秋左氏伝』の序の語「彰往考来」に由来します。「彰往考来」とは、過去をあきらかにして未来を考えるという意味です。我々建築士は建築の設計という^{なりわい}生業を通じ、語り継がれる仕事をできることを誇りに^{なりわい}喜びを感じなければなりません。いまこの茨城の地より、先達が説いた「彰往考来の^こころ^ら」に学ぶときであると考えます。

「大会宣言」

わたしたち建築士事務所は未曾有の災害である東日本大震災を経験し大自然の猛威の前には無力であるとの反省にたち「彰往考来」の^こころ^らに^いる^らに^まな^まぶ^ぶ、過去を明らかにし未来を考え、建築に対して真摯に向き合い伝統文化と先端技術が調和した安全安心で快適な生活環境の実現に向け、建築の専門家として技術の向上と創意工夫に努め美しい建築文化の創造に貢献する事をここに宣言します。



ご挨拶

一般社団法人
日本建築士事務所協会連合会 会長

大内 達史



第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）の開催にあたり、主催者としてご挨拶を申し上げます。

「水府の風（すいふのかぜ）」のおもてなしにより復興の歓びをかみしめ、建築士事務所全国大会が茨城の地に於いて開催されることを大変うれしく感じております。

平成23年3月11日の東日本大震災のあの悲劇から4年半が経ちましたが、復興の速さ、また地元の方々の復興に対する想いの強さによるものを感じます。

地震国である日本では、南海トラフ・首都直下地震が今後30年以内に予測されており、東日本大震災の復興と対策を十分に教訓として、我々が造る建物がこの地震国で立派に建ち続けるため、国民の生活の安全を第一に考え良質な建物を造り上げることこそが責務であると改めて感じております。

さて、昨年6月に改正建築士法が成立し、本年6月25日に施行されました。この法案が成立されるまでには様々な団体の方々に、ご指導、ご協力いただいたお陰です。特に日事連、日本建築士会連合会、日本建築家協会の三会がまとまり、合意することが出来たことにより、国土交通省住宅局もびっくり、また、自由民主党建築設計議員連盟（会長 額賀福志郎先生）も驚き、建築士法成立に向け努力してくれる約束をとりつけることが出来ました。その結果、延べ面積300㎡超え建

築物の設計等の書面契約義務化、業務報酬基準に準拠した契約締結の努力義務化、設計等業務の無登録業務禁止の徹底（技術的助言）、建築主からの求めに応じた免許証提示の義務化、その他の改正事項等について今まで曖昧であった事項などが明文化されました。

この改正建築士法の改正を契機として、国民と一体となった設計・監理業に専念してまいります。

当初我々が目指した「業の確立」にはなりませんでしたが、将来に向け一歩前進したと確信しております。士法改正による設計・工事監理の業務等に関するルールの整備のもと、より一層健康で快適な生活環境の創造と安全安心、持続可能で良質な資産の形成への取組みを進め、建築士事務所の適正な評価と社会の信頼を得、社会的地位向上を実現してまいりますので、これからの活動へのご理解とご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日ご出席いただいたご来賓の皆様には厚くお礼申し上げます。また、本大会の開催準備に当たられました茨城県建築士事務所協会横須賀会長始め役員の方々、実行委員の皆様、会員の方々本当にご苦勞様でした。これからも協会の為にご尽力いただきます様お願い申し上げますお礼の言葉とさせていただきます。

歓迎のご挨拶

一般社団法人
茨城県建築士事務所協会 会長

横須賀 満夫



第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）の開催にあたり、日本全国津々浦々からここ茨城県水戸市まで遠路はるばるお越しいただき感謝申し上げます。心より歓迎申し上げます。

また、国土交通大臣始め国会議員、茨城県議会議員の諸先生方、茨城県知事、水戸市長並びに関係官庁、関係団体の皆様におかれましては、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り感謝申し上げます。本日、第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）を開催の運びとなりましたことは、私共茨城県建築士事務所協会として大いなる喜びであり、各单位会の皆様を始め関係各位に感謝申し上げます。この大会は、会員の皆様が建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、一堂に会し会員相互の連携と友情を深め合う有意義な大会であります。

今大会は、東日本大震災から4年半を迎え、全国の会員が集う茨城県から、被災地の復興を祈り願い、そして叶うという願いを込めて「復興の歓び」をテーマといたしました。また、大会スローガンの「彰往考来のところに学ぶ」とは、過去をあきらかにして未来を考えるという意味であります。我々建築士は、建築の設計という生業を通じ、語り継がれる仕事をできることを誇りに、喜びを感じなければならないという思いを込めて大会スローガンとさせていただきました。

昨年は建築設計三会により、設計・監理の「業」の適正化など建築士法の改正が実現し本年度施行の運びとなりましたが、我々が目指す「(仮称) 建築士事務所法」への道のりは未だ遠いものがあります。そのためには、会員増強に努め建築設計業界の発言力を強めていかななくてはなりません。茨城会においても、会員

増強は喫緊の課題と捉え鋭意取り組み、その結果、担当委員会の努力により会員数が500社を超えることが出来たところであります。今後とも継続して取り組んでまいります。

さて、先頃、「近世日本の教育遺産群」として認定された日本三名園の一つでもあります偕楽園は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公に依って造園され梅の名所として知られております。偕楽園の名称の由来は、中国の古典である『孟子』の「古の人は民と偕(とも)に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節からとったものであります。また、同じく日本遺産に認定された弘道館は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が、藩士の教育のために1841年に創設し、当時の藩校としては国内最大級のもので、武芸一般はもとより医学・薬学・天文学を取り入れた現在の総合大学的なものであります。この弘道館も震災において被災し、やっと震災以前の姿に「復興」したところでありますので、是非ともご見学いただきたいと思います。10月は実りの秋です。茨城県は、海産物や農産物の宝庫でありますので、茨城の美味を堪能していただければ幸いです。

結びにあたり、全国大会（茨城大会）がこの様に盛大に開催できますことは、国土交通省を始め茨城県、水戸市、関係団体、そして全国の単位会の皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。ご参会の皆様と、建築設計監理業界の益々の発展、そして、ご参会の皆様のご健勝とご活躍をご祈念いたしまして歓迎の挨拶といたします。

歓迎のご挨拶

茨城県知事

橋本 昌



この度、第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）が、本県水戸市において盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆様に心より歓迎申し上げます。

建築士事務所協会の皆様方には、日頃から、建築物の設計や工事監理などの業務の適正化に貢献をされますとともに、安全・安心で快適なまちづくりに多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表する次第です。

また、東日本大震災に際しましては、本県を含む被災各地において、皆様方から、被災建築物の応急危険度判定活動をはじめ、多大なご支援を賜りましたことにつきまして、改めて感謝申し上げます。

震災から4年7ヶ月余りが経過し、道路・港湾・漁港等の復旧につきましては、皆様方のご支援を賜りながら進めてまいりました結果、一部の漁港を除き本年3月までに完了いたしました。震災を教訓とした防災体制の充実強化や液状化対策など、本格的な復興に向けた取組みは道半ばの状況にあります。

また、消滅可能性都市と言う言葉が大きな話題となる中、本県でも震災以降、急速に人口が減少しており、将来に向けて、地域の活力や日常生活をいかに維持していくかが、大きな課題となっております。

県といたしましては、震災からの復興や災害に強い県土づくりを進めながら、地域の総力を結集して経済の再生や地方創生に取り組みますとともに、本県の着実な発展に向けて、「人が輝く 元気で住みよい いばらき」の実現に向けて、全庁一丸となって取り組んでおります。

とりわけ、建築物の安全性に対する関心が一段と高まる中、皆様方のお力添えもあり、県有建築物の耐震化率は今年度末に100パーセントに達する見込みです。今後は、民間の大規模建築物等について、これまでの耐震診断経費への助成に加え、改修工事についても対象となるよう制度の拡充を図ってまいります。

こうした中、建築設計業界の中枢を担う皆様方が一堂に会し、「復興の歓び」をテーマとした本大会が開催されますことは、茨城の元気な姿を全国に発信する貴重な機会であり、大変有り難く感じております。

また、「彰往考來のところに学ぶ」をスローガンに、建築文化の継承や建築技術の向上を図るために活発な議論が行われますことは、誠に意義深いことであり、本大会が大きな成果をあげられますよう心からご期待申し上げます。

なお、農業産出額が全国第2位の本県では、海外でも高い評価を得ている常陸牛をはじめ、この時期旬を迎えた梨や栗、常陸秋そばなど、様々な食材に恵まれております。また、今年4月に日本遺産に認定された日本最大規模の藩校である弘道館や日本三名園のひとつである偕楽園、春のネモフィラ・秋のコキアで有名な国営ひたち海浜公園、ゴルフ場や温泉など、四季折々に楽しめる豊かな自然や観光地もございますので、皆様方には、この機会に本県の魅力を存分にご堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会のご成功と一般社団法人日本建築士事務所協会連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしまして、歓迎の挨拶といたします。

歓迎のご挨拶

水戸市長

高橋 靖



第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国からお集まりいただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

本大会は、39回を重ねる歴史ある大会であり、全国の建築士事務所の皆様一堂に会され、建築設計監理業の公共性と社会的役割に対する意識の高揚を図り、もって建築士事務所業務の進歩改善に努め、社会の期待に応えるより良い環境づくりに貢献することを目的として開催されております。今回は「復興の歓び」を大会テーマに、東日本大震災をはじめとした自然災害に対する反省にたち、今後の建築物のあるべき姿について真摯に向き合うとともに、震災の被災地である茨城そして水戸から、東北三県など甚大な被害を受けた地域への早期復興の祈りと、復興は必ず叶うとの思いを込めた大会となります。

本市におきましては、東日本大震災以来4年間、復旧・復興を最重要課題として、インフラの復旧はもちろん、防災・減災対策や地域経済の回復に、市民の皆様と力を合わせて取り組んでまいりました。市役所新庁舎の建設などの課題が残っておりますが、市民の暮らしは落ち着きを取り戻し、まちの姿もほぼ回復しつつあります。「復興の歓び」という本大会のテーマに、本市の復旧・復興にあたって応急危険度判定など多大なご協力を賜りました建築士事務所協会の会員の皆様や、復興に向け力強く歩んできた市民の皆様に対する、尽きせぬ感謝の気持ちを

寄せたいと思います。

さて、本市は江戸時代に水戸徳川家の城下町として、関東では江戸に次ぐ城市を誇り、全国にその名が広まりました。以来現在に至るまで、水と緑に囲まれた自然環境の中で、歴史と伝統を大切に育んできたところです。本年4月には、日本最大規模の藩校・弘道館や学業休息の庭園・偕楽園など本市を代表する歴史的な資産が、近世日本の教育遺産群として日本遺産に登録されました。登録された遺産の一つである「彰考館」は、水戸黄門として有名な水戸藩二代藩主徳川光圀公が大日本史を編纂するにあたり設けた史局であり、本日の大会スローガンにもあります「彰往考来（往時をつまびらかにし来時を考える）」を命名の由来としております。弘道館の近隣に立地していた彰考館は、現在では市立水戸第二中学校となっており、付近は往時を偲ばせる白壁の道となっておりますので、弘道館ともどもぜひお立ち寄りいただき、歴史の香りたたく水戸の魅力を感じていただければ幸いです。

結びに、本大会が「彰往考来のところに学ぶ」というスローガンのもと、過去の自然災害を検証しながら、未来に向けて、安全安心で快適な、そして美しい建築文化の創造に、大きく貢献されますことをご期待申し上げますとともに、日本建築士事務所協会連合会と会員の皆様の今後ますますのご発展と、ご参会の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

大会プログラム

大会式典 10月16日(金) 10:00～18:00

会場：茨城県立県民文化センター
〒310-0851 茨城県水戸市千波町697
Tel.029-241-1166



10:00	登録受付開始 日事連建築賞受賞作品展、茨城会作品展、物産展 ＊おもな展示、販売の詳細はp22をご覧ください
12:45～14:00	対談 「弘道館の震災復旧事業に携わって ——その過去・現在・未来を考える」 鈴木 暎一氏、小坪 のり子氏
14:15～15:45	基調講演 「人びとの集まる、しなやかな建築」 古谷 誠章氏、妹島 和世氏
16:00	オープニング映像／開会宣言 来賓紹介／大会役員紹介／単位会紹介 大会実行委員長歓迎挨拶／日事連会長挨拶／来賓祝辞 水戸PR(梅大使)／表彰式／審査講評／大会宣言 第41回開催地会長挨拶／大会旗伝達 閉会宣言
18:00	閉会

シャトルバスで記念パーティー会場（水戸プラザホテル）へ移動

記念パーティー 18:30～20:30

会場：水戸プラザホテル
〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1
Tel.029-305-8111



18:00	受付
18:30	開会 歓迎挨拶／来賓紹介 鏡開き・乾杯／第41回開催地PR(和歌山会) アトラクション(寺内タケシとブルージーンズ)
20:30	閉会

ゴルフコンペ 10月17日(土) 8:30～

会場：大洗ゴルフ倶楽部
〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町8231-1
Tel.029-266-1234



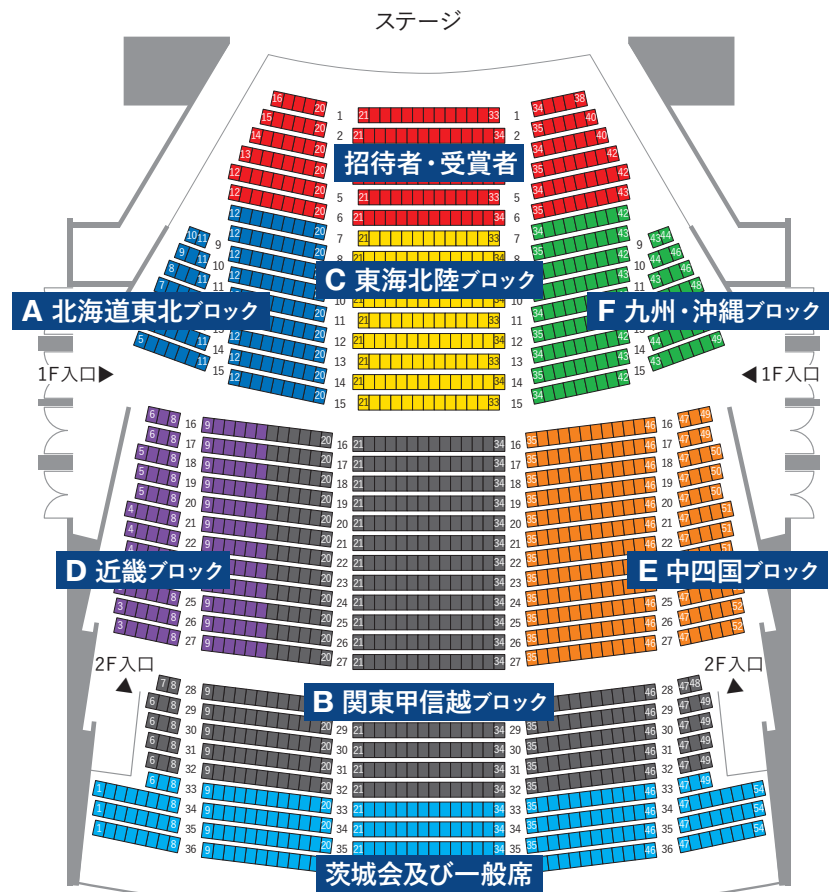
8:30	現地集合
9:00	1組目スタート

会場案内

茨城県立県民文化センター



大会式典会場 ブロック別座席表 (大ホール)



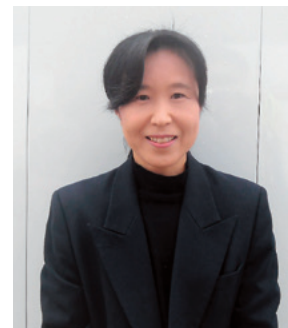
テーマ：「弘道館の震災復旧事業に携わって
——その過去・現在・未来を考える」



鈴木 暎一 氏

茨城大学名誉教授
文学博士

昭和14年に茨城県鉾田市に生まれる。昭和38年に東京大学大学院人文科学研究科国史学専門課程修士課程を修了。昭和39年国立茨城工業高等専門学校講師に就任、のち助教授・教授に。昭和54年茨城大学教育学部助教授に就任し、昭和62年に教授となる。平成17年に常磐大学教授に就任し、平成23年まで務める。現在は茨城県文化財保護審議会会長、茨城県立歴史館協議会委員長などを務める。著書に、『水戸藩学問・教育史の研究』、『国学思想の史的研究』、『徳川光圀』他がある。



小唄 のり子 氏

弘道館事務所史料研究業務嘱託員

昭和43年茨城県水戸市に生まれる。平成3年同志社大学文学部文化学科卒業。平成3年茨城県立歴史館史料部臨時職員となり、のち嘱託職員に。平成12年北浦町教育委員会生涯学習課町史編纂専門嘱託職員。平成17年に弘道館事務所臨時職員となり、のち史料研究業務嘱託員となる。現在は水戸市立博物館協議会委員を務める。共著として、『北浦町史』、『十王町史』、『近世日本の学問・教育と水戸藩』（Ⅰ～Ⅲ）他がある。



弘道館：水戸藩第9代藩主徳川斉昭が創設した日本最大規模の藩校
正門、正庁及び至善堂は国の重要文化財

テーマ：「人びとの集まる、しなやかな建築」

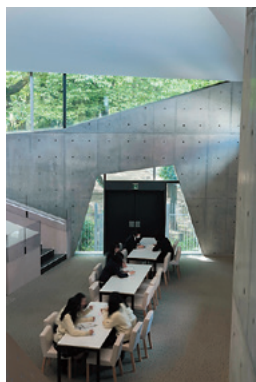


古谷 誠章 氏

建築家

NASCA代表・早稲田大学教授

1955年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院博士前期課程修了。1994年に早稲田大学助教授に就任。1997年より現職（教授）。1986年から文化庁建築家芸術家在外研究員としてスイスの建築家マリオ・ボッタの事務所に在籍。1994年に八木佐千子と共同してNASCAを設立。1999年「詩とメルヘン絵本館」で日本建築家協会新人賞受賞。2007年「茅野市民館」で日本建築学会賞作品賞受賞。2014年「実践学園中学・高等学校 自由学習館」で日本建築家協会日本建築大賞受賞、その他受賞多数。著書に、『建築家っておもしろい 古谷誠章+NASCAの仕事』（文屋）他がある。



実践学園中学・高等学校 自由学習館 (NASCA)



小布施町立図書館まちとしょテラン (NASCA)



photo: Takashi Okamoto

妹島 和世 氏

建築家

妹島和世建築設計事務所代表

1956年茨城県生まれ。1981年日本女子大学大学院修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務を経て、1987年妹島和世建築設計事務所を設立。1995年西沢立衛と共にSANAAを設立。2010年第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。同年SANAAとしてプリツカー賞を受賞。主な作品に、梅林の家、犬島「家プロジェクト」など。またSANAAとしては金沢21世紀美術館、ニューミュージアム（ニューヨーク、アメリカ）、ROLEXラーニングセンター（ローザンヌ、スイス）、ルーヴル・ランス（ランス、フランス）等。現在、日立市新庁舎、アメリカのコミュニティーセンター「グレイスファームズプロジェクト」他が進行中。



ルーヴル・ランス (SANAA)

co-auteurs du Musée du Louvre-Lens : ©SANAA / Kazuyo Sejima et Ryue Nishizawa - IMREY CULBERT / Celia Imrey et Tim Culbert - MOSBACH PAYSAGISTE / Catherine Mosbach, Photographie ©SANAA

日事連パネル展示 小ホール棟2階

「日事連建築賞受賞作品展」

平成27年度日事連建築賞において国土交通大臣賞に輝いた「ROKI Global Innovation Center -ROGIC-」、日事連会長賞に選定された「勝瀬の家」のほか、力作ぞろいの優秀賞6作品、奨励賞10作品について、建物の意匠の特徴や設計におけるコンセプトを示したパネル展示を行います。



茨城会パネル・映像展示 小ホール棟2階

「弘道館震災復旧工事記録映像」

水戸市にある国指定史跡・重要文化財の弘道館は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により天保12(1841)年に創設された、国内最大規模の藩校です。東日本大震災により大きく被災しましたが、3年がかりの慎重な調査と大がかりな工事を経て、平成26(2014)年6月に美しい姿で蘇りました。伝統建築物の詳細な復旧・復興を追った貴重な記録映像をどうぞご覧ください。



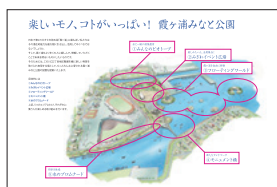
「3.11 被災体育館等及び液状化被害補強・復旧記録展」

東北地方太平洋沖地震で大きな被害を受けた茨城県内の建物の被害状況及び復旧補修改修までを示します。今大会の会場である「茨城県立県民文化センター」のほか、県内の5つの高校の「鉄筋コンクリート造・屋根鉄骨造体育館」の詳細な調査と、耐震改修までの記録。及び「液状化現象被害地区」における被害調査と復旧の取組をぜひご覧ください。



「景観まちづくりプロジェクト(水戸市西の谷・土浦市霞ヶ浦)」

県から指定された景観整備機構として、良好な景観の形成に関する提言等を行っている「景観まちづくり委員会」が、これまでに策定した2つの提言、「水戸景観まちづくりプロジェクト」と「霞ヶ浦みなと公園・土浦景観プロジェクト」の内容をパネル展示します。県内26市町村への提案で好評を得た提言をぜひご覧ください。



物産品販売・飲食会場 中庭ほか

茨城県自慢の名産品をご用意しています。ぜひこの機会にお買い求めください。

[物産展会場] だるま食品(納豆)／鳥末食品(牛蒡巻)／やまきち(漬物)／野口徳太郎商店(猿島茶)／ふじ屋(つくばプリン)／水戸市農業公社(乳製品)／井熊総本家(銘菓)／都炉美煎本舗(煎餅)／光月堂(印籠焼)／根本製菓(煎餅)／亀印製菓(銘菓)／運平堂本店(饅頭)／あさ川製菓(銘菓)／つかもと(甘納豆)／有機農業研究会(焼き栗)／吉久保酒造(地酒)／根本漬物(梅干し他)／幸田商店(ほしいも)／菜香や(浅漬け)／桐の華工房(桐下駄)／明恒パール(淡水パール)

[飲食会場] 大水(鯖すし)／飯島畜産(牛丼・カレー)／高橋肉店(コロッケ)／かるかも(焼きそば)／お弁当の万年屋(お弁当)／五浦ハム(ハム焼き)／太津美屋本店(お弁当)／朝日堂(ホルモン鍋)／山翠(豚汁・唐揚げ)／つくば手造りハム(串焼きベーコン)／安部(しらうお丼)／青木製麺工場(うどん・そば)

記念パーティーでのアトラクション 会場：水戸プラザホテル

時間：19:30～20:10(予定)

寺内タケシとブルージーンズ

記念パーティーでは、「エレキの神様」こと寺内タケシ率いるブルージーンズが、ゴキゲンなGSサウンドを披露して会場を盛り上げます。寺内氏は、茨城県土浦市の出身。5歳にしてギターを手にし、母に三味線のでほどきを受けながら、電話のコイルを使ってエレキギターを作成、関



東学院大在学中にプロ活動を開始と、まさにギターの申し子というべき経歴の持ち主。昭和37年に寺内タケシとブルージーンズを結成し、現在までのレコーディング曲は7500曲以上。昭和40年のエレキ禁止令に端を発した「寺内タケシとブルージーンズ・ハイスクールコンサート」は、平成17年に厚生労働省社会保障審議会推薦「児童福祉文化財」に推薦され、実施校は1600校以上を数えています。

国家表彰受賞者

叙勲・褒章受章者（平成26年秋）			
〔叙勲〕	旭日小綬章	押田 洋治	（富山会）
	旭日小綬章	酒井 淳	（栃木会）
	旭日双光章	田代 芳信	（兵庫会）
〔褒章〕	黄綬褒章	舟幡 健	（茨城会）
	黄綬褒章	戸田 和孝	（大阪会）
	黄綬褒章	小川 浩	（和歌山会）
	黄綬褒章	今村日出男	（福岡会）
叙勲・褒章受章者（平成27年春）			
〔叙勲〕	旭日小綬章	山田 美光	（群馬会）
	旭日双光章	鈴木 誠一	（秋田会）
	旭日双光章	居森 正而	（岡山会）
〔褒章〕	黄綬褒章	柿川 博則	（滋賀会）
	黄綬褒章	近江 吉郎	（富山会）
	黄綬褒章	原田 敏文	（兵庫会）

平成27年度 国土交通大臣表彰受賞者

田中 健一	（茨城会）
安藤 寛樹	（栃木会）
西川 英治	（石川会）
伊藤 典男	（静岡会）
富田 正行	（愛知会）
辻 裕樹	（大阪会）
貴田 茂	（岡山会）
西田 功	（徳島会）
高崎 徳彦	（福岡会）
福島 正継	（熊本会）
中村 純一	（鹿児島会）
野原 勉	（沖縄会）

平成27年度 年次功労者表彰受賞者

野々瀬雅昭	（北海道会）	辻田 博	（京都会）
岩清水敬悦	（岩手会）	仲 保弘	（大阪会）
白鳥 行則	（宮城会）	竹中 郁雄	（兵庫会）
石川 裕司	（山形会）	中谷 芳一	（奈良会）
平田 茂	（福島会）	前迫 一雄	（和歌山会）
小室 晶	（茨城会）	藤井 泰徳	（鳥取会）
君島 広之	（栃木会）	成田 光男	（島根会）
小林 勇	（群馬会）	石原 節夫	（岡山会）
戸張 隆	（埼玉会）	栗林 隆	（山口会）
広瀬 淡	（東京会）	松村 史朗	（徳島会）
芝 京子	（神奈川会）	岩本 茂美	（福岡会）
福澤 克己	（長野会）	權藤 浩	（佐賀会）
進藤 哲雄	（山梨会）	三好 定和	（長崎会）
長島 建夫	（富山会）	下野 健一	（熊本会）
小林 正澄	（石川会）	後藤 明夫	（宮崎会）
田中 誠治	（福井会）	上妻 建生	（鹿児島会）
松岡由紀夫	（愛知会）	佐久川守仁	（沖縄会）
増田喜代司	（滋賀会）		

会員増強単位会表彰受賞者

（一社）東京都建築士事務所協会
（一社）石川県建築士事務所協会
（一社）鹿児島県建築士事務所協会

平成27年度 日事連建築賞

国土交通大臣賞（一般建築部門）

(株)小堀哲夫建築設計事務所（東京会） | 「ROKI Global Innovation Center -ROGIC-」

日事連会長賞（小規模建築部門）

石井秀樹建築設計事務所（東京会） | 「勝瀬の家」

優秀賞（一般建築部門）

(株)五井建築研究所（石川会） | 「Share 金沢」

(株)アプルデザインワークショップ 一級建築士事務所（東京会） | 「はあと保育園」

(株)日建設計一級建築士事務所（大阪会） | 「大塚グループ大阪本社 大阪ビル」

優秀賞（小規模建築部門）

bUdアトリエ一級建築士事務所（東京会） | 「八幡浜みなっとトイレ棟」

fuse-atelier（千葉会） | 「House in TSUTSUMINO」

(株)吉富興産一級建築士事務所（東京会） | 「ガジュマルハウス」

奨励賞（一般建築部門）

一級建築士事務所 (株)IAO 竹田設計 大阪第四事務所(大阪会) | 「GRAN SANCTUS YODOYABASHI」

水谷俊博建築設計事務所一級建築士事務所（東京会） | 「アーツ前橋」

創・ゴンドラ・近藤 設計特定共同企業体 共同企業体代表 (株)創建築事務所（富山会） |
「糸魚川市立 糸魚川小学校・ひすいの里総合学校」

(株)日建設計一級建築士事務所（愛知会） | 「愛知県立芸術大学音楽学部校舎」

(株)山下設計 中部支社（愛知会） | 「愛知県歯科医師会館」

奨励賞（小規模建築部門）

プラネットクリエイションズ関谷昌人建築設計アトリエ（奈良会） | 「NAVI STRUCT HOUSE 2」

齋藤和哉建築設計事務所（宮城会） | 「八木山のハウス」

(有)アトリエ慶野正司一級建築士事務所（栃木会） | 「すみれチャイルド」

(株)アート総合設計（静岡会） | 「SHIRASU」

studio velocity一級建築士事務所（愛知会） | 「愛知産業大学 言語・情報共有センター」

平成27年度

日事連建築賞

審査報告

審査講評

受賞作品

審査報告

日事連建築賞選考委員会委員長 富永 譲

今年度は、一般建築部門80点、小規模建築部門75点の合計155点の応募があり、単位会での第1次審査を経て、27単位会から日事連に一般建築部門24点、小規模建築部門24点の合計48点の建築作品の応募がありました。

6月9日に日事連会議室において選考委員会が開催され、第2次審査を行いました。委員の討議及び投票の結果、まず一般建築部門9作品、小規模建築部門9作品を受賞候補として選定いたしました。その後、更に討議・検討の結果、国土交通大臣賞、日事連会長賞及び優秀賞候補として一般建築部門の5作品、小規模建築部門の5作品を現地審査することといたしました。

現地審査は7月13日から8月7日にかけて行われ、その結果を踏まえて8月7日の最終選考委員会において討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞を選定するに至りました。また更なる討議・検討の結果、一般建築部門から3作品、小規模建築部門から3作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門から5作品、小規模建築部門から5作品を奨励賞に選定いたしました。

以上審査報告といたします。

日事連建築賞選考委員会

委員長	富永 譲	法政大学名誉教授、(有)富永譲・フォルムシステム設計研究所代表
委員	網野 禎昭	法政大学デザイン工学部教授
委員	石堂 威	都市建築編集研究所代表
委員	作山 康	芝浦工業大学システム理工学部教授
委員	杉藤 崇	国土交通省大臣官房審議官
委員	陶器二三雄	(株)陶器二三雄建築研究所代表
委員	横須賀満夫	日事連理事、(株)横須賀満夫建築設計事務所代表取締役

審査講評

今年度の国土交通大臣賞は「ROKI Global Innovation Center -ROGIC-」です。浜松市の天竜川を望む丘の上に建てられた、自動車エンジン用のフィルター等の開発、製造企業の研究施設です。画一的でない新しいオフィスの空間が生み出されています。地形に呼応した段状の床に、一枚の半透明の大屋根が架かるというアイデアそのものは、西欧にも前例があり、珍しいものではありませんが、それらがいずれも均質な大空間のみを感じさせるのに比べ、ROGICでは、日本建築の座敷と縁側と庭といった場の多様性、ニュアンスの多彩さ、自然との連続性が無理なく、内部の働く場に生み出されていることに感動します。心も躍る気持ちの良い場所に新たなアイデアや交流が生まれるというクライアントの理解の上で、設計者はこの大規模で、困難な建築課題（ビルディングタスク）を正面から引き受け、長い時間をかけ、志高く、完成させるに至った、並々ならぬ統合力とその力量を評価しました。そして、独創性もさることながら、依頼者の思いに十分に応え、健全な社会の在り方の創造に一步踏み出そうとした、社会の中での設計事務所の本来あるべき姿が評価され国土交通大臣賞として選定されました。

日事連会長賞は「勝瀬の家」です。小さな切妻屋根のブロックが、敷地全体に集まり、一軒の住まいの場となり、集落のような親しみ易い風景を創り出しています。小さなブロックの内部は、それぞれ独自の外側の庭と関わりを持つことで、住まいを経験してみると広やかな距離の感覚がそこに生み出されています。設計の細部の納まりや素材の選択に対しても、研鑽を積んだ堅実な高い技術力を伺うことができ、感心しました。美しい端正な内部の部屋は、陶芸作家の奥様の工房の離れを含みながら、庭を挟んでネックレスのように結びついています。この独特な小さな部屋を連結する建築構成は、用務への集中と庭への解放という、日々の生活の時間のメリハリや切替えに大きく役立っているのだと思いました。周囲の街にも違和感なく共存し、日本の昔の住宅のつくり方を思わせるもので、敷地全体の広がり注目し、小さな場所を心を込めて建築化していることにも評価が集まりました。依頼者の思いに応え、なおかつ広い視野で設計された、極めて優れた住宅として日事連会長賞に選定されました。

一般建築部門の優秀賞は次の3作品です。

「Share金沢」は障害者だけでなく、健常者、学生、高齢者も分け隔てなく「ごちゃ

混ぜ」で一緒に暮らせる街を創るという試みで、書類審査の時点で、すでに話題になっていました。さて現地に赴いてみると、旧国立病院の敷地の大樹を活かしながら、感じの良い小規模な木造が寄り添うように配置されていて、高齢化社会の新しいミックスする住まいの可能性をイメージさせるものでした。無表情な幅員6mの市道を敷地内通路と考えることは出来なかったかなど、審査員からいろいろな疑問は出ましたが、コンセプトのこれからの展開を示唆する、出色の計画だと評価されました。

「はあと保育園」は東西に細長い決して条件の良いとはいえない敷地を解釈し、南側の公園と一体化するこの2階建ての透明感のある建物は、それぞれがバラバラに建ち並ぶ地域の空気を結びつけ、成功しています。スケールも的確で、子供が遊び回る自由な場を与えて、建物然としていなく、地形的な環境をつくり出していることも好感が持てます。デザインの密度もあり、透明なつくり方の中で、場の性格は、家具や植栽やフェンスなどが雰囲気をつくる役割を受け持っていて、弱いデザインの中に、良い保育園のあり方を示していることが評価されました。

「大塚グループ大阪本社 大阪ビル」は美しいプロポーションの魅力ある姿のオフィスビルとして、メインストリートに面して、輝きを持ったものとして建ち現われています。H型鋼をダイヤゴナルに組んだ構造は、一般のカーテンウォールのビルと異なって、意匠上、細部をとりまとめる様々な工夫と高い技術力を要求したはずで、設計者はこの困難を新たな挑戦として受け止め、会議室フロアに三次元曲面の壁を持つ楕円形の部屋を創り出す等、各所に創意を見せ、全体がコンセプト倒れの雑なものにならないように、注意を払って全体をまとめあげる真摯な態度に感心しました。新たな試みの第一歩として評価されました。

小規模建築部門の優秀賞は次の3作品です。

「八幡浜みなとトイレ棟」は小さな施設ですが、公開コンペで選ばれたもので、全体構想からディテールに至るまで一貫した設計の考えが貫徹した完成度の高いものでした。シンプルを旨に、素材を吟味し、光を大切に扱い、一般の公衆トイレとは明らかに異なるプロトタイプとなりうる質が生まれています。こんな腕のある若い人に、市は連続する一体の道の駅の物販施設の設計にも関わらせることができなかったのかと悔やまれます。小さな施設にも全力を投入して場所の一隅を照らす若い設計者を応援し

たい気持ちです。

「House in TSUTSUMINO」は江戸川を望む、何の変哲もない2階建の木造の住宅地に突然現れた、コンクリートのフォルマリズムのように見えてしまっていますが、内部の空間に魅力的な提案が秘められています。小さなカフェを含む住宅ですが、複雑な形体を用いて、狭い敷地の中に、光や視界の拡がりを通じて、内外の場の繋がり、新しい空間の発見を試みています。住まいとしてはハードな環境ですが、こうした挑戦的で芸術的な場を求める数少ない依頼主が現代の日本にあって、それに応えて精緻に、時間をかけ設計し、工事まで指導し、実現したこの設計者の一連の努力、試行は評価されるべきです。

「ガジュマルハウス」は打って変わって都心の40坪ほどの正方形の敷地に7戸の賃貸住宅を成立させるギリギリの提案です。賃料の経済条件や窓先空地の法的条件といった厳しい条件をクリアするものとして5階建て相当の階に12枚の床面をスパイラル状に連続させ、各住戸のボリュームを階にとられることなく割り当て、その結果、一住戸は2つのスキップする部屋の床があり、異なった方位に開口部を持ち、一面は前面道路に面するというアイデアが生み出す住まいの場です。建築設計の面白いところは条件が厳しくなると様々な発見があるところだと思います。ここでも、床下のトランクルームや、2つの部屋の階高のリズムなど、単にスラブを重ねた一般の賃貸住宅に見られない場のニュアンスが生み出されています。

以上の他に、一般建築部門及び小規模建築部門それぞれにおいて優秀賞に次ぐ奨励賞の作品が選定されました。一般建築部門では「GRAN SANCTUS YODOYABASHI」「アーツ前橋」「糸魚川市立 糸魚川小学校・ひすいの里総合学校」「愛知県立芸術大学音楽学部校舎」「愛知県歯科医師会館」の5作品、小規模建築部門では「NAVI STRUCT HOUSE 2」「八木山のハウス」「すみれチャイルド」「SHIRASU」「愛知産業大学 言語・情報共育センター」の5作品です。いずれも入念な設計で、それぞれ計画や技術に新しい提案を含んだ作品です。



国土交通大臣賞（一般建築部門）

「ROKI Global
Innovation Center
-ROGIC-」

（株）小堀哲夫建築設計事務所（東京会）

建設地： 浜松市天竜区
用途： 事務所（研究所）
構造： RC造、一部SRC造
造階数： 地上4階
敷地面積： 67,510.55㎡
建築面積： 3,998.96㎡
延面積： 8,319.84㎡



日事連会長賞（小規模建築部門）

「勝瀬の家」

石井秀樹建築設計事務所（東京会）

建設地： 埼玉県富士見市 敷地面積： 292.27㎡
用途： 一戸建ての住宅 建築面積： 130.48㎡
構造： 木造 延面積： 119.49㎡
階数： 地上1階



優秀賞（一般建築部門）

「Share金沢」

(株)五井建築研究所（石川会）



建設地： 石川県金沢市
用途： 児童福祉施設等
構造： S造（2棟）、木造（23棟）
階数： 地上1階（18棟）
 地上2階（7棟）
敷地面積： 35,766.96㎡
建築面積： 6,761.58㎡（25棟計）
延面積： 7,943.72㎡（25棟計）

優秀賞（一般建築部門）

「はあと保育園」

(株)アプルデザインワークショップ
一級建築士事務所（東京会）

建設地： 山口県山口市
用途： 児童福祉施設等（保育所）
構造： RC造（一部S造）
階数： 地上2階
敷地面積： 1,864.24㎡
建築面積： 807.59㎡
延面積： 1,315.63㎡



優秀賞（一般建築部門）

「大塚グループ大阪本社 大阪ビル」

(株)日建設計一級建築士事務所（大阪会）

建設地： 大阪市中央区
用途： 事務所、保育所
構造： S造、SRC造
階数： 地上11階 地下1階 塔屋1階
敷地面積： 2,432.32㎡
建築面積： 861.10㎡
延面積： 7,254.71㎡



優秀賞（小規模建築部門）

「八幡浜みなっとトイレ棟」

bUdアトリエ一級建築士事務所（東京会）



建設地： 愛媛県八幡浜市
用途： トイレ
構造： S造
階数： 地上1階
敷地面積： 1,296.27㎡
建築面積： 159.44㎡
延面積： 159.44㎡

優秀賞（小規模建築部門）

「House in TSUTSUMINO」

fuse-atelier（千葉会）



建設地： 千葉県野田市
用途： 住宅＋カフェ
構造： RC造
階数： 地上2階
敷地面積： 198.47㎡
建築面積： 109.75㎡
延面積： 150.54㎡

優秀賞（小規模建築部門）

「ガジュマルハウス」

(株)吉富興産
一級建築士事務所（東京会）

建設地： 東京都大田区
用途： 共同住宅
構造： RC造
階数： 地上5階 地下1階
敷地面積： 119.87㎡
建築面積： 70.81㎡
延面積： 314.42㎡



奨励賞（一般建築部門）

「GRAN SANCTUS YODOYABASHI」

一級建築士事務所 (株)IAO 竹田設計
大阪第四事務所（大阪会）

建設地： 大阪市中央区
用途： 共同住宅・店舗
構造： RC造
階数： 地上13階 地下1階
敷地面積： 729.88㎡
建築面積： 486.79㎡
延面積： 5,665.62㎡



奨励賞（一般建築部門）

「アーツ前橋」

水谷俊博建築設計事務所 一級建築士事務所（東京会）



建設地： 群馬県前橋市
用途： 美術館
構造： SRC造、一部S造
階数： 地上9階 地下1階
敷地面積： 2,629.69㎡
建築面積： 1,932.89㎡
延面積： 5,517.38㎡

奨励賞（一般建築部門）

「糸魚川市立 糸魚川小学校・ひすいの里総合学校」

創・ゴンドラ・近藤 設計特定共同企業体
共同企業体代表 (株)創建築事務所 (富山会)



建設地： 新潟県糸魚川市
用途： 小学校
構造： RC造、一部S造
階数： 地上2階
敷地面積： 26,328.67㎡
建築面積： 5,795㎡
延面積： 9,165㎡

奨励賞（一般建築部門）

「愛知県立芸術大学音楽学部校舎」

(株)日建設計一級建築士事務所 (愛知会)



建設地： 愛知県長久手市
用途： 大学
構造： RC造、一部S造
階数： 地上3階
敷地面積： 408,059.20㎡
建築面積： 3,935.80㎡
延面積： 5,899.79㎡

奨励賞（一般建築部門）

「愛知県歯科医師会館」

(株)山下設計 中部支社 (愛知会)

建設地： 名古屋市中区
用途： 事務所
構造： S造、一部SRC造
階数： 地上6階 地下1階
敷地面積： 1,301.38㎡
建築面積： 1,151.88㎡
延面積： 6,212.70㎡



奨励賞（小規模建築部門）

「NAVI STRUCT HOUSE 2」

プラネットクリエイションズ
関谷昌人建築設計アトリエ (奈良会)

建設地： 奈良県大和郡山市
用途： 専用住宅
構造： 木造
階数： 地上2階
敷地面積： 200.65㎡
建築面積： 70.41㎡
延面積： 119.25㎡

奨励賞 (小規模建築部門)

「八木山のハウス」

齋藤和哉建築設計事務所 (宮城会)



建設地： 仙台市太白区
用途： 専用住宅
構造： 木造
階数： 地上1階
敷地面積： 468.96㎡
建築面積： 137.47㎡
延面積： 137.47㎡

奨励賞 (小規模建築部門)

「すみれチャイルド」

(有)アトリエ慶野正司一級建築士事務所 (栃木会)



建設地： 栃木県小山市
用途： 児童福祉施設 (保育所)
構造： RC造
階数： 地上2階
敷地面積： 1,054.66㎡
建築面積： 176.30㎡
延面積： 186.23㎡

奨励賞 (小規模建築部門)

「SHIRASU」

(株)アート総合設計 (静岡会)



建設地： 鹿児島県鹿児島市
用途： 個人住宅
構造： S造
階数： 地上2階 屋上
敷地面積： 228.91㎡
建築面積： 88.00㎡
延面積： 143.94㎡

奨励賞 (小規模建築部門)

「愛知産業大学 言語・情報共育センター」

studio velocity 一級建築士事務所 (愛知会)



建設地： 愛知県岡崎市
用途： 大学
構造： S造
階数： 地上1階
敷地面積： 14,402.76㎡
建築面積： 1,170.01㎡
延面積： 452.77㎡

資料編

招待者名簿

運営組織図

第41回建築士事務所全国大会
(和歌山大会)へのいざない

全国大会の歩み

協賛団体・協賛事務所

招待者名簿

国会議員（自由民主党建築設計議員連盟）

石破 茂	衆議院議員・議連顧問
額賀福志郎	衆議院議員・議連会長
梶山 弘志	衆議院議員・議連・茨城県建築士事務所協会最高顧問
逢沢 一郎	衆議院議員・議連副会長
渡海紀三朗	衆議院議員・議連幹事長
山本 有二	衆議院議員・議連事務局長
古川 禎久	衆議院議員・議連事務局次長
盛山 正仁	衆議院議員・議連事務局次長
田所 嘉徳	衆議院議員・議連

国土交通省

太田 昭宏	国土交通大臣
由木 文彦	住宅局長
杉藤 崇	大臣官房審議官（住宅局担当）
石田 優	大臣官房審議官（住宅局担当）
石崎 和志	住宅局建築指導課長
西川 実	住宅局建築指導課企画専門官
原田 佳道	住宅局建築指導課企画専門官
橋本 公博	前住宅局長

茨城県

橋本 昌	茨城県知事
細谷 典幸	茨城県議会議長
海野 透	茨城県議会議員・茨城県建築士事務所協会顧問
西野 一	茨城県議会議員・茨城県建築士事務所協会顧問
渡辺 学	茨城県土木部長
山田 茂	茨城県土木部都市局建築指導課長
中村 浩	茨城県土木部都市局住宅課長
鈴木 安行	茨城県土木部営繕課長

水戸市

高橋 靖	水戸市長
------	------

住宅金融支援機構

木下 一也	理事
-------	----

招待者名簿

松村 収	審査部住宅審査室長
山崎 徳仁	審査部住宅審査室検査管理グループ長
大谷 治久	審査部住宅審査室住宅審査グループ長
藤野 晶成	審査部住宅審査室検査業務グループ長
中野 秀也	審査部住宅審査室検査管理グループ主任調査役（総括）

関係団体等

三井所清典	（公社）日本建築士会連合会会長
山中 保教	（公社）日本建築士会連合会副会長
木村 行道	（公社）日本建築士会連合会常務理事
芦原 太郎	（公社）日本建築家協会会長
筒井 信也	（公社）日本建築家協会専務理事
中島 正愛	（一社）日本建築学会会長
真木 康守	（一社）日本建築学会専務理事
山内 隆司	（一社）日本建設業連合会副会長
河野 晴彦	（一社）日本建設業連合会建築設計委員長
坂山 修平	（一社）日本建設業連合会専務理事
今倉 章好	（一社）日本建設業連合会常務理事
近藤 晴貞	（一社）全国建設業協会会長
浅野 宏	（公財）建築技術教育普及センター理事長
鈴木 眞生	（公財）建築技術教育普及センター副理事長
西尾 信次	（公財）建築技術教育普及センター専務理事
島崎 勉	（一財）建築行政情報センター理事長
笹井 俊克	（一財）建築行政情報センター専務理事
吉沢 和之	（一社）新・建築士制度普及協会事務局長
春田 浩司	（一財）建築コスト管理システム研究所理事長
澤木 英二	（一財）建築コスト管理システム研究所専務理事
松野 仁	（一財）日本建築センター理事長
塚田 市朗	（一財）日本建築センター専務理事
井上 俊之	（一財）ベターリビング理事長
清水 一郎	（一財）ベターリビング専務理事
服部 範二	建築士事務所厚生年金基金理事長
村山 高文	建築士事務所厚生年金基金常務理事
岡田 恒男	（一財）日本建築防災協会理事長
神田 重信	（一財）日本建築防災協会専務理事

高橋 吉徳	（一財）日本建築防災協会常務理事
菊地 繁	（一社）茨城県設備設計事務所協会会長

日事連役員OB

三井 達雄	元専務理事
川端 繁夫	元専務理事
鈴木 俊夫	元専務理事
高津 充良	前専務理事

賛助会員

林 治克	福井コンピュータアーキテクト(株)代表取締役社長
山田 茂樹	協栄産業(株)ソリューション第二事業部 開発第一部専門次長
平野 雅之	グラフィソフトジャパン(株)マーケティングマネージャー

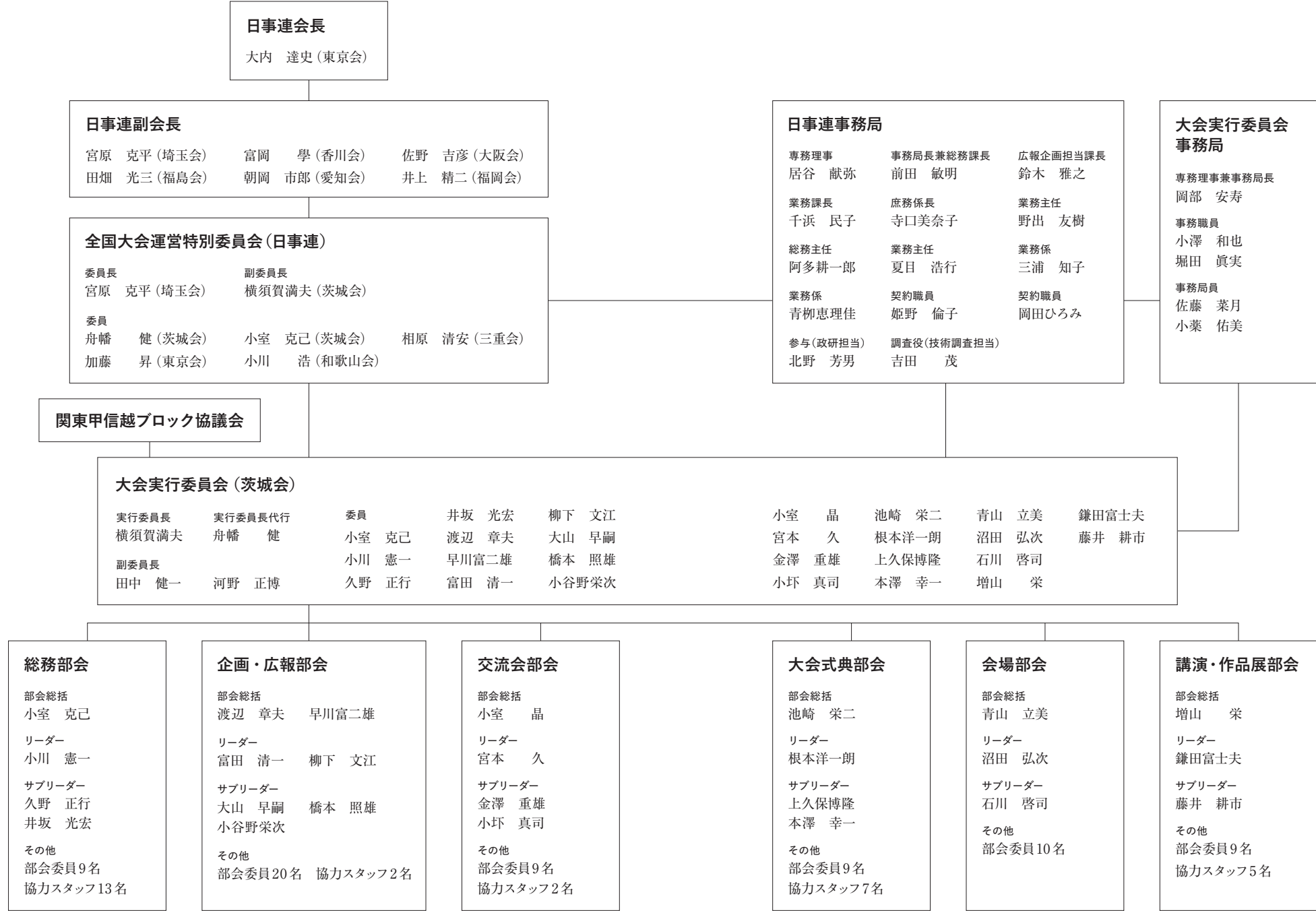
報道関係

飯塚 秀樹	(株)日刊建設工業新聞社代表取締役
大澤 正次	(株)日刊建設通信新聞社代表取締役社長
高橋 正徳	(株)日刊建設産業新聞社代表取締役社長
瀬本 次久	(株)建通新聞社代表取締役社長
寺山 正一	日経BP社・日経アーキテクチュア発行人
澤井 聖一	(株)エクスナレッジ・建築知識編集長
小田部 卓	(株)茨城新聞社代表取締役社長
井上 哲郎	(株)日刊建設新聞社 水戸総局長
吉濱 俊樹	日本工業経済新聞社 水戸支局長
山下 勝	(株)日刊建設通信新聞社 東関東支局長

協賛会社

小川 圭一	(有)日事連サービス代表取締役
阿部 功	(有)日事連サービス専務取締役
中川 孝昭	(有)日事連サービス相談役
田中 栄吾	東京海上日動火災保険(株)建設産業営業部長
山下 隆一	東京海上日動火災保険(株)建設産業営業部次長兼営業第二課長
ディエゴ・デロレンズィ	ゼネラル保険会社 日本における代表者
野村 義人	三井住友海上火災保険(株)広域法人部長
清水 芳人	損害保険ジャパン日本興亜(株)団体・公務開発部長

運営組織図



2年後、「海と山の国・和歌山」で またお会いしましょう。

一般社団法人
和歌山県建築士事務所協会 会長

小川 浩



第39回建築士事務所全国大会が茨城県水戸市において「復興の歓び」をテーマに盛大に開催されることを、心よりお祝い申し上げます。

今大会の開催にあたり、茨城会はじめ関東甲信越ブロックの皆様など関係各位のご尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、2年後の第41回全国大会は平成29年10月6日(金)に和歌山県和歌山市において開催されることが決定しております。

和歌山県は本州最南である紀伊半島南西部に位置し、緑豊かな森林、雄大な景観を展開する642kmにも及ぶ海岸線と豊かな海洋を有しており、各地に湧出する温泉群、多種多様な動植物の生息・生育する自然資源や世界遺産に登録された高野・熊野文化をはじめとする歴史文化遺産に恵まれ、観光、レクリエーションの場としても、日本国内はもとより、アジアやヨーロッパなど諸外国にまでその魅力が認識されつつあります。

とりわけ、2004年にユネスコの世界遺産に登録された文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、古代から奈良や京都に住む人々が紀伊山地は神々がこもり、仏が宿る聖域としてあがめられた地域でもあります。この地域は、紀伊山地でも特に信仰を集めた霊場「吉野・大峰」「熊野三山」「高野山」とそれらを結ぶ道である「大峰奥駈道（おおくけみち）」「熊野参詣道」「高野山町石道（たかのみやまちいしのみち）」などによって構成され、その範囲は和歌山県を中心に奈良県や三重県まで広がっています。

和歌山県の観光スポットとしては、和歌山市エリアとして徳川御三家の一つ、紀州藩の居城・和歌山城をはじめ史跡の多い町エリア、万葉集に謳われた景勝地和歌浦、釣りや海水浴で賑わう海エリアでは海の幸も楽しめます。貴志駅の「たまⅡ世駅長の

ニタマ」や和歌山マリーナシティも人気となっております。次に、今年「高野山開創1200年」を迎えた高野山エリアは、和歌山市から東へ車で約1時間半のところで世界遺産・高野山は半径1キロ半に寺院や史跡など見所が凝縮した山上の宗教都市であり、厳かな雰囲気と素晴らしい自然を満喫できます。ふもとの町九度山町から高野山までは、参詣道・高野山町石道が続きます。九度山町は、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の主人公真田幸村ゆかりの地でもあります。和歌山市から南に目を向けると紀中・紀南エリアが広がります。海と山の国・和歌山を象徴するエリアで、食べ物も、みかん、醤油、クエ、梅干しと和歌山の特産物が揃います。中でも、「白浜」は関西を代表する観光地であり、7匹の親子パンダのいるアドベンチャーワールド、円月島や三段壁などの景勝地、そして伊勢エビやクエ、近大マグロなど豊富な海の幸。そして本州最南端の町・串本に向かって南下すれば、壮大なりアス式の海岸美が堪能できます。

和歌山市の中心部に位置する和歌山城は、天正13年(1585)に紀州を平定した羽柴(豊臣)秀吉が弟の秀長に築城させたのが始まりです。その後、秀長の城代として桑山重晴が入り、慶長5年(1600)には関ヶ原の戦いで功をたてた浅野幸長が入城。そして、元和5年(1619)には徳川家康の第10男頼宣が入城し、紀州藩55万5千石の居城となり、以来、尾張・水戸と並び、徳川御三家のひとつとして長い歴史を刻んできました。

平成29年の全国大会では、この和歌山城の下で全国の会員の皆様との交流を和歌山会会員一同楽しみにしておりますので多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

全国大会の歩み

第39回→第30回

ただいま開催中!



第39回「茨城大会」 開催日：平成27年10月16日 会場：茨城県立県民文化センター

【大会テーマ】復興の歓び

【大会宣言】わたしたち建築士事務所は未曾有の災害である東日本大震災を経験し大自然の猛威の前には無力であるとの反省にたち「彰往考来」のところに学び、過去を明らかにし未来を考え、建築に対して真摯に向き合い伝統文化と先端技術が調和した安全安心で快適な生活環境の実現に向け、建築の専門家として技術の向上と創意工夫に努め美しい建築文化の創造に貢献する事をここに宣言します。

【対談】「弘道館の震災復旧事業に携わって―その過去・現在・未来を考える」

【基調講演】「人びとの集まる、しなやかな建築」



第38回「東京開催」 開催日：平成26年10月3日 会場：帝国ホテル

【大会テーマ】東日本大震災の教訓と建築士事務所のこれから

【大会宣言】私たちは、東日本大震災の教訓を継承し、設計・工事監理の業の適正化を目指す建築士法の改正を機に、建築士事務所の責務を再認識し、更なる社会的信頼を高め、良質で持続可能な建築・まちづくりを国民と共に目指すことをここに宣言する。

【第1部 シンポジウム】～東日本大震災に果した「建築復興支援センター」の役割～

【第2部 建築士法改正の報告】「建築士法改正の意義と建築士事務所のこれから」



第37回「三重大会」 開催日：平成25年8月9日 会場：三重県営サンアリーナ

【大会テーマ】建築の原点 文化・魂と技の継承

【大会宣言】私たちは建築士事務所は様々な課題の解決、災害への対応を経験してきた今、もう一度建築の原点に回帰し、建築物に住む人、使う人、作る人、全ての人のための安全の実現・健全の実現・保持という、建築文化と技術を、過去から現在へ、現在から未来へ継承する専門家として、活動を進めること。さらに、このことにより全ての人の生活を守ること、社会活動の維持継続に尽力する事をここに宣言します。

【パネルディスカッション】「建築文化の継承とまちづくり」

【記念講演】「建築の原点・祈りと歓び」 栗生明（建築家）



第36回「東京開催・日事連創立50周年記念」 開催日：平成24年10月5日 会場：帝国ホテル

【大会テーマ】明日を拓く、豊かな社会に向かって

【大会宣言】私たち建築士事務所は日事連創立50周年を機に、持続可能なライフスタイルを目指す新たな価値観を国民と共有し、国民が真の豊かさを享受できる社会の実現のために、建築とまちづくりを通して貢献することをここに宣言します。

【記念講演】「救国のレジリエンス～強くしなやかな国・日本を目指して～」 藤井聡（京都大学大学院工学研究科教授）



第35回「東京開催」 開催日：平成22年10月1日 会場：帝国ホテル

【大会テーマ】建築設計・工事監理業の確立に向けて

【大会宣言】私たちは、公共的価値を見現化する質の高い建築を創造し、維持していくという基本理念を国民と共有し、その実現に向けて、設計監理業を担う建築士事務所を法的に位置付け、関係者の責務と役割を明らかにする建築士事務所法の制定を目指すことを宣言する。

【シンポジウム】「建築設計・工事監理業の確立に向けて ～建築士事務所法はなぜ必要か～」



第34回「愛媛大会」 開催日：平成21年10月9日 会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）

【大会テーマ】建築に夢、地球に愛

【大会宣言】われわれ建築士事務所は、この地球上において永年にわたり、最高かつ最大の使命が与えられてきた。それは、人が生活する上で必要不可欠といえる、都市環境を創る一翼を担うことである。これからの新たな時代においても、常に夢と愛を持ち続け、叡智と存在を余すことなく発揮し、誇り高きこの使命に向かって邁進することをここに宣言する。

【パネルディスカッション】「いで湯と城と文学のまち・日本一のまちづくり」

【記念講演】「ガウディ論」 外尾悦郎（彫刻家）



第33回「東京開催」 開催日：平成20年10月3日 会場：帝国ホテル

【大会テーマ】新たな使命に向かって～建築士事務所協会の法定化を契機として～

【大会宣言】われわれ建築士事務所は、新たに法律に定められた団体の会員として、社会から課せられた使命を自覚し、自己研鑽と職業倫理の遵守を誓い、国民の信頼と期待に応えることをここに宣言します。

【シンポジウム】「新たな使命に向かって～建築士事務所協会の法定化を契機として～」



第32回「大分大会」 開催日：平成19年10月5日 会場：iichiko 総合文化センター

【大会テーマ】まちと自然との共生

【大会宣言】われわれ建築士事務所は、今世紀最大の課題である持続可能な社会の実現のために、歴史と伝統に培われた建築文化を礎とし地球にやさしく、自然環境を再生させる営みを通して、人と自然、まちと自然との共生を追求し、次代に求められる環境文明の時代を迎えるべく、新しい建築の創造に寄与することをここに宣言する。

【記念講演】「プロジェクトX・挑戦者たち～日本のものづくりの原点」 今井彰（エグゼクティブプロデューサー）

【リレー講演】「温泉・自然・まちと景観」



第31回「東京開催」 開催日：平成18年10月6日 会場：東京會館

【大会テーマ】「信頼回復を目指して」

【大会宣言】私たち建築士事務所は、失われた信頼を回復し、社会の期待に応えるため、自立した専門家としてさらなる職業倫理の遵守と、社会的責任の重要性を認識するとともに、高度な技術と知識の向上に努め、安全・安心な都市（まち）づくりに貢献することを宣言する。

【シンポジウム】「設計事務所は社会の期待にどう応えるか」



第30回「埼玉大会」 開催日：平成17年9月16日 会場：大宮ソニックシティ

【大会テーマ】都市（まち）と景観の再創造

【大会宣言】21世紀の建築創造を担う私達は、先人が遺産として伝えてくれた建築文化を継承し、その保全と再生に努め、より積極的活用を図り、自然環境との共生、弱者への配慮、災害に強い都市（まち）づくりなど、現代的課題を克服しつつ、伝統と現代が融合する安全で美しい街並み、人々が喜びにあふれ、賑わいに満ちた、うるおいある都市景観を創出し、新たな建築文化の伝統を築きつつ、未来の世代に伝承することを宣言する。

【基調講演】「古代エジプトの都市（まち）とその生活」 吉村治治（早稲田大学教授 工学博士）

【分科会】①「心」と「体」のバリアフリー ②低強度コンクリート造建築物を対象とした耐震診断・耐震改修 ③都市（まち）と景観 ④「日事連建築賞」建築作品展（受賞者・パネルディスカッション）



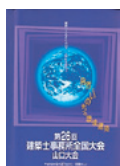
第29回〔富山大会〕 開催日：平成16年10月7日・8日・9日 会場：オーバード・ホール
[大会テーマ] 循環の世紀へ
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、環境との共生を求められる循環型社会の中で、地域の自然や風土に根ざした建築文化とその果たす役割を再認識するとともに、互いの交流を深め、活性化をはかり、新しい「循環」の第一歩となる次代の建築文化を創造することを宣言する。
[記念シンポジウム] 循環の世紀へ



第28回〔奈良大会〕 開催日：平成15年9月25日・26日・27日 会場：なら100年会館
[大会テーマ] 自然と織りなす未来の建築
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、自然環境との共生、地球温暖化に対応する環境への配慮をはかり、豊かな自然風土と匠の伝統を継承しながら、新しい創造へ建築物に寄与するものとしての役割と責務を認識し、次世代へ伝達することを宣言する。
[記念講演] 「匠たちが残した物と心」 青山茂（帝塚山短期大学名誉教授）



第27回〔北海道大会〕 開催日：平成14年9月19日・20日・21日・22日 会場：北海道厚生年金会館
[大会テーマ] 子供たちに残そう、豊かな大地と美しい街を！
[大会宣言] わたしたち建築士事務所は、かけがえのない地球に大きな負荷を与えてきたことを反省し、クライアント及び社会に対する責任感と倫理観を高め、自然との共生を先人に学び、技術を研鑽し、知恵を結集して、次世代に自信を持って伝承できる社会の構築に向け、真摯に、誠実に、努力を重ねることを宣言します。
[記念講演] 「アイヌの自然観、自然との共生」 萱野茂（二風谷アイヌ資料館館長）



第26回〔山口大会〕 開催日：平成13年9月27日・28日・29日 会場：山口市民会館
[大会テーマ] 自然といのちの環境建築
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、21世紀をここに迎え、地球環境問題と建築の係わり方を真剣に考え、その重要性を認識し、人類の生命を尊重する人間性豊かな社会を創り出すために専門家として、あらゆる困難に挑戦する強靱な精神と卓越した技術を持って、建築活動の在るべき方向性を顕示し、輝く21世紀の自然といのちの環境建築の創造に寄与することをここに宣言する。
[記念講演] 「宇宙から地球環境と災害を探る」 菅雄三（広島工業大学環境学部環境情報学科教授）



第25回〔長崎大会〕 開催日：平成12年10月12日・13日・14日 会場：長崎ブリックホール
[大会テーマ] 新世紀の建築と環境
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、建築の創造に於いて未来永劫に亘り、良好な社会資本整備を目的とし、自然環境と建築との調和を試み、自然エネルギーを最大限考慮し、資源の有効活用と再生の可能性を限りなく追求する。そして地域の歴史と文化風土を尊重し、健康で安全性を重視した都市、建築、環境の共生を、次世代に継承される事をここに全世界に向けて宣言する。
[シンポジウム] 新世紀の建築と環境



第24回〔千葉大会〕 開催日：平成11年11月11日・12日・13日 会場：千葉ポートアリーナ
[大会テーマ] 建築…人と自然の21世紀への架け橋
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、自然との共生、社会との調和をはかり、一人ひとりの多様なニーズに対応した、人間性豊かなまちづくりを考え、これを次世代へ継承し、未来に向かって実践することを宣言する。
[記念講演] 「地球環境は未来への贈り物」 幸田シャーマン（ジャーナリスト）



第23回〔静岡大会〕 開催日：平成10年11月19日・20日・21日 会場：静岡コンベンションアーツセンター「グランシップ」
[大会テーマ] 今、「未来に残す安心と安全」を考える
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、安心と安全を未来に残すため、その社会的役割の重要性を認識し、専門家として精神及び技術の研鑽に努め、健全なる建築文化の創造に寄与することを宣言する。
[基調講演] 「人間を考える」 藤本義一（作家）
[分科会] 1環境「街づくりと建築と景観」 2都市防災「世紀末の都市計画」 3福祉「老後をカクシャクと生きるには～老後の安心と安全を考える～」 4耐震・鼎談・東海地震対策に関わって20年」 5施設「文化を運ぶノアの方船」



第22回〔岩手大会・創立35周年〕 開催日：平成9年9月25日・26日・27日 会場：岩手県民会館
[大会テーマ] 21世紀 建築と環境の共生をめざして
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、地球的視野のもとに、地域の自然・歴史・風土と共生する建築をめざし、建築専門家としての役割と責務を自覚し建築文化の創造に寄与することを宣言する。
[記念講演] 「平泉の黄金文化―建築と風土と歴史―」 高橋富雄（盛岡大学学長）



第21回〔滋賀大会〕 開催日：平成8年10月3日・4日・5日 会場：滋賀県立体育館
[大会テーマ] 「人にやさしい街づくり」
[大会宣言] われら建築士事務所は、社会的責務を自覚し、さらなる技術の研鑽に努め、21世紀に向け人と自然にやさしい街づくりに取り組むことを宣言する。
[基調講演] 「人・街・自然―それぞれの論理」 日高敏隆（滋賀県立大学学長）
[分科会] 人・街・自然



第20回〔香川大会〕 開催日：平成7年10月19日・20日・21日 会場：香川県県民ホール
[大会テーマ] 「震災と建築」
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、自然の営みを謙虚に直視し、さらなる技術の向上を目指し、安全で快適な街づくりに努め、優れた建築文化に向って努力することを宣言する。
[シンポジウム] 震災に学ぶ住宅づくり



第19回〔鹿児島大会〕 開催日：平成6年10月20日・21日・22日 会場：鹿児島市民文化ホール
[大会テーマ]「建築の来し方、行く末…百年の節目を考える」
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、先達の足跡に学びながら、新たな世紀において期待される業務の役割と責任を果たすべく、さらなる研鑽に努めるとともに、社会に貢献する優れた建築文化の創造に寄与することを宣言する。
[シンポジウム] 建築の来し方、行く末…百年の節目を考える



第18回〔長野大会〕 開催日：平成5年9月20日・21日・22日 会場：松本文化会館大ホール
[大会テーマ]「環境と建築―同化・調和・対峙」
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、21世紀に向かい、自然環境・都市環境と建築の新たな関係に配慮し、歴史的変化に対応し得るデザインを行い、よりよい地球環境の創造に寄与することを宣言する。
[シンポジウム] 環境と建築―同化・調和・対峙



第17回〔石川大会〕 開催日：平成4年10月15日・16日・17日 会場：石川厚生年金会館
[大会テーマ]「景観に果たす建築の役割」
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、連合会創立30周年を機に、建築設計業務の責務を更に自覚し、オビニオンリーダーとしての一層の研鑽を重ねると共に、21世紀に向けて、広く地域環境保全につとめ、より人間性豊かな都市の形成と建築景観の創造に寄与することを宣言する。
[シンポジウム] 景観に果たす建築の役割



第16回〔秋田大会〕 開催日：平成3年10月17日・18日 会場：秋田県民会館
[大会テーマ]「機能と調和・時代を越えて」
[大会宣言] われわれは「で愛、ふれ愛、かたり愛」の提唱を礎に建築文化の創造に限りない夢の実現を求め、たゆまぬ努力を重ね、未来社会の構築と発展に寄与することを宣言する。
[記念講演]「新しい世界と日本」 竹村健一（評論家）
[シンポジウム] 建築界と後継者づくり



第15回〔兵庫大会〕 開催日：平成2年9月27日 会場：神戸文化ホール
[大会テーマ]「村、町、都市づくりにロマンを」
[大会宣言] われわれは、よいまちづくりを通して地域社会の発展に寄与するため、建築士事務所の経営基盤の強化と智質の向上をより重ねると共にその責任を明確にし、地域社会が求める優れた建築文化の創造に向かって最大の努力をすることを宣言する。
[シンポジウム] 建築設計界の近未来と地域社会での役割



第14回〔沖縄大会〕 開催日：平成元年10月19日・20日 会場：那覇市民会館 沖縄コンベンションセンター
[大会テーマ]「国際化・情報化時代と建築の創造」
[大会宣言] われわれは、国際化・情報化時代に対応して都市環境と建築という分野にかかる国際的視野を広げ、建築専門家集団としての社会的役割を自覚し、地域に根ざした香り高い建築文化を創造しよう。
[記念講演]「新日本人事情」 深田祐介（作家）
[分科会] ①ハイテク時代と設計 ②風土と建築 ③国際化と建築界



第13回〔岡山大会〕 開催日：昭和63年10月11日 会場：岡山市民会館
[大会テーマ]「いま瀬戸大橋時代」建築文化への創造
[大会宣言] われわれは、建築界のリーダーの一員としての役割を十分に認識し、その25年の歴史を、建築士事務所の社会的地位の向上と21世紀に向けての都市環境・建築文化の創造に寄与することを宣言する。
[分科会] ①21世紀への建築設計界 ②地域文化と都市環境



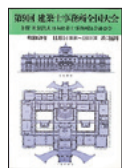
第12回〔東京大会・創立25周年〕 開催日：昭和62年9月24日・25日 会場：京王プラザホテル
[大会テーマ] 21世紀、未来をめざした建築の設計と生活環境
[大会宣言] われわれは、建築界のリーダーの一員としての役割を十分に認識し、その25年の歴史を糧とし、さらにその総力を結集し、都市と人間、自然と環境の問題をよくとらえ、均衡ある21世紀の発展に寄与する。
[記念講演]「近未来の都市論」 小松左京（作家）
[分科会] ①首都東京はどう変貌するか―望ましい都市の姿を求めて― ②都市と生活環境一次代へ残そう住みよい環境― ③建築設計界の今後―より広い視野を―
[特別分科会] 国際都市東京と未来―21世紀の人間都市革命―



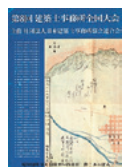
第11回〔宮城大会〕 開催日：昭和61年8月5日 会場：仙台市民会館
[大会テーマ] ふるさとづくりのバイオニア日事連
[大会宣言] われわれ建築士事務所は、建築が文化の形成に占める役割を認識し、ふるさとづくりの先達となるとともに、互いに友情と信頼をもって建築士事務所法の確立に邁進する。
[記念講演]「独眼竜政宗」 伊達篤郎（郷土史家）
[分科会] ①ふるさとの街づくり ②建築士事務所のビジョン



第10回〔愛知大会〕 開催日：昭和60年10月8日・9日 会場：名古屋観光ホテル
[大会テーマ] まちづくり21世紀に翔ける日事連
[大会宣言] われわれは、建築界のリーダーとして、21世紀に向かって、誠意と情熱をもって、豊かな環境の実現を目指すとともに、建築士事務所業法の確立のため、邁進しよう。
[記念講演]「社会構造の変化と政治課題」 飯島清（政治評論家）
[分科会] ①未来に広がる中部圏 ②建築士事務所の役割と在り方を考える ③建築士事務所の業法制定に向かって



第9回「福岡大会」 開催日：昭和59年11月14日・15日 会場：福岡市・電気ビル ホテルニューオータニ博多
[大会テーマ] 建築の文化と社会の福祉に貢献する
[大会宣言] われわれは建築界の有識者として、プライドをたもち、社会のニーズに応え、職能を通じて建築文化に貢献することを誓う。
[記念講演]「情報の選択」 益田憲吉（西日本新聞社解説委員長）
[分科会] ①これからの建築技術 ②これからの建築士事務所経営 ③これからのまちづくり



第8回「北海道大会」 開催日：昭和58年9月21日・22日 会場：京王プラザホテル札幌
[大会テーマ]「建築と社会をむすぶ理想の絆」一前進する日事連—
[大会宣言] われわれは、建築界のリードオフマンとして、真に社会の求める建築設計監理業務の遂行を目指し業法制定に邁進する。
[記念講演]「利雪の時代のすすめ」樋口敬二（名古屋大学教授・水圏科学研究所所長）
[分科会] ①土法25条の運用と建築士事務所の責任 ②建築士事務所の社会的責任 ③風土にマッチした街並みづくり



第7回「大阪大会」 開催日：昭和57年11月18日・19日 会場：大阪ガーデンパレス
[大会テーマ] あしたを築く日事連—その使命と行動—
[大会宣言] われわれは、建築界のリードオフマンの自覚に立って、一層の技術向上につとめ、地域社会の繁栄と調和をめざして、適正な業務を遂行するとともに、建築設計監理業法制定の早期実現を期す。
[記念講演]「峠の時代の行動指針」 堺屋太一（作家）
[分科会] ①建築士事務所の社会的責任と権限 ②日事連の法的（建築士法）確立は可能か ③まちづくりと建築士事務所



第6回「神奈川大会」 開催日：昭和56年10月15日・16日 会場：ホテルリッチ横浜、開港記念館
[大会テーマ] まちと家と建築士事務所の役割
[大会宣言] われわれは、建築界のリードオフマンたる確信と責任において、すべての建築に安全と質の高い空間を確保するため、建築設計監理業法の制定を推進すると共に、建築設計監理システムの一層の合理化をはかる。
[記念講演]「外からみた日本及び日本人」 グレゴリークラーク（上智大学教授）
[分科会] ①設計・工事監理の契約と責任範囲 ②住宅設計料の公費負担は可能か ③欠陥住宅と違反防止について



第5回「山形大会」 開催日：昭和55年10月16日・17日 会場：村尾旅館（上山市）
[大会テーマ] 建築設計料をみなおす
[大会宣言] われわれは、建築界のリードオフマンの自信と責任において、快適な生活環境の確保および省エネルギー建築の開発等、社会のニーズに応じて、合理的且つ適正な建築設計監理の遂行と建築設計監理業法の実現を期す。
[記念講演]「安楽国といわれる山形—その歴史と文化について—」 武田好吉（郷土史家）
[分科会] ①あなたの街の建築士事務所 ②住宅の設計と監理



第4回「広島大会」 開催日：昭和54年10月11日・12日 会場：広島グランドホテル
[大会テーマ] 良い建築とは何か
[大会宣言] われわれは、建築界のリードオフマンとしての責務を認識し、積極的な姿勢を以て互いに研鑽し、建築設計監理業務の一層の確立につとめると共に、建築設計監理業法制定の早期実現をはかる。
[記念講演]「地方の時代」 宮沢弘（広島県知事）
[分科会] ①安く良い建築を作るために ②地域と建築士事務所の役割



第3回「栃木大会」 開催日：昭和53年10月18日・19日 会場：日光市総合会館
[大会宣言] われわれは、社会が要請する建築士事務所の在り方を再確認し、学識・技術経験を活用して、社会・文化の向上に寄与するものである。
[記念講演]「日光山の美しい心」 今井昌晃（日光山浄土院住職）
[分科会] ①「よい建築、よい町をつくるために」—建築士事務所はどうあるべきか—
②「よい建築はどうしたらつくれるか」—工事監理を徹底するには何が問題か—
③「あらためて問う、全事連とは何か」—公益団体としての役割とビジョン—



第2回「京都大会」 開催日：昭和52年10月13日・14日 会場：国立京都国際会館
[大会決議] われわれは、社会の趨勢を良く認識し、建築士事務所の社会的使命を自覚した上で、責任と役割を広く社会的に提示し、かつ理解を求めて、会員それぞれの研鑽を通じて、全建築士事務所の意識高揚を提言するものである。
[記念講演] 日本文化について 多田道太郎（京都大学教授）
[分科会] ①町並み、集落の保存と調和 ②建築士事務所の報酬と諸対策 ③建築士事務所団体の役割

第1回「東京大会」 開催日：昭和51年10月8日・9日 会場：京王プラザホテル
[大会決議] われわれは、社会のニーズに応える建築士事務所の誇りと使命を自覚し、建築設計監理に携わる関係者の人格の陶冶、技術の研究、学術の研鑽を重ね、建築士事務所の総力を結集して、広く社会の発展に貢献するものである。
[記念講演]「にほん」 清水公照師（奈良東大寺管長）
[分科会] ①都市環境と建築指導要綱 ②設計監理業務と建築士法 ③協会の将来像を描く

*平成23年10月21日に開催が予定されていた福島大会は、東日本大震災により中止となりました。

協賛団体・協賛事務所

協賛団体

- (一社) 茨城県建築士会
- (一財) 茨城県建築センター

協賛事務所

正会員

- (株)アーキシステム建築設計事務所
- アーキテクチャサービス・ナカザキ
- (有)アークオフィス建築設計室
- (株)相澤建築設計事務所
- (株)青山建築設計事務所
- 暁飯島工業(株)一級建築士事務所
- (株)秋山工務店
- アシスト設計
- アトリエ10 一級建築士事務所
- (株)EOS建築事務所
- 一級建築士事務所(株)石川建築研究所
- (株)石川建築設計事務所
- (株)石島建設
- 磯部建築設計事務所
- (株)市毛建築設計事務所
- (株)一毛工務店
- (株)一本杉建築設計事務所
- (有)イノ設計
- (株)井上工務店
- (一財) 茨城県建設技術公社
- (一財) 茨城県住宅管理センター
- (株)茨城サービスエンジニアリング
- (株)インテグラル一級建築士事務所
- AIS 総合設計(株)
- ASD 建築設計室
- SSD 建築事務所
- (株)エス・ディ・フレックス
- (有)エスティエス設計
- MR 設計

- エム・シィ・エンタープライズ(株)
- M'sBOX 建築設計事務所
- (株)大貫工務店一級建築士事務所
- (有)大野建築設計事務所
- (株)大山都市建築設計
- (株)岡野建築設計事務所
- 尾関建築設計事務所
- オフィスエイト(株)
- (株)折本工業一級建築士事務所
- (有)加倉井亨建築設計室
- (株)鹿島テクノス
- (株)要建設一級建築士事務所
- 鎌田建築アトリエ
- 軽部建築設計事務所
- (株)川上総合設計
- (株)環境工作室
- 久野建築設計室
- (有)クボタ建築設計事務所
- (株)K 建築設計事務所
- (株)玄設計一級建築士事務所
- (同) 建築工房 Koakutsu
- (株)けんちく工房 一級建築士事務所
- (株)コアー建築事務所
- (有)コウシュウ設計
- (株)河野正博建築設計事務所
- 香陵住販(株)一級建築士事務所
- 小葉建設設計事務所
- コスモ総合建設一級建築士事務所
- (有)小林一生建築研究所
- (株)桜設計事務所
- 佐昌建物(株)一級建築士事務所
- 佐藤建築研究室
- (株)サンアイ一級建築士事務所
- (株)三共建設一級建築設計事務所
- (株)柴建築設計事務所
- 清水建築事務所
- (有)清水忠建築設計事務所
- (株)下川設計一級建築士事務所
- 淳設計工房

- (株)ジュン設計
- 常総開発工業一級建築士事務所
- 昭和建設(株)一級建築士事務所
- (株)白土工務店
- (株)進栄建築設計部
- 鈴木鉄工建設(株)
- (株)須藤隆建築設計事務所
- セイショウ建築事務所
- 関彰エンジニアリング(株)
- (株)関根工務店
- 瀬谷工業(株)
- (株)染野製作所設計部
- (株)染谷工務店
- (株)第一設計
- (有)太平企画設計工務所
- (株)太平工業
- 高塚建設工業(株)一級建築士事務所
- (有)高槻建築設計事務所
- (株)高橋組一級建築士事務所
- (株)匠建築研究室
- 竹澤一級建築士事務所
- 樹・中村昌平建築事務所
- (株)団建築設計事務所
- (株)地区計画コンサルタンツ茨城支社一級建築士事務所
- 千葉建築設計事務所
- 塚田建材(株)設計部
- (株)塚本建築設計事務所
- つくば建築設計事務所(株)
- 坪和建築設計事務所
- (株)TMK 工房
- 東鉄工業(株)水戸支店
- 東洋工業(株)
- (株)戸頃建築設計事務所
- 富山建材(株)建築士事務所
- トヨタホーム茨城建築設計(株)
- (株)中建築設計事務所
- (有)長塚建築設計事務所
- (株)中山敬二建築設計事務所
- (株)中山設計事務所

- 並木設計事務所
- 日本産業(株)
- 日興建設(株)
- (株)根本建築設計事務所
- (株)根本工務店一級建築士事務所
- (株)根本英建築設計事務所
- (株)のあ設計事務所一級建築士事務所
- (株)ハース
- (株)羽石英夫建築設計事務所
- 橋本建築設計事務所
- ハナワ建築設計事務所(株)
- (株)早川建築事務所
- (株)バル 総合設計
- (有)汎連合設計
- (株)日立建設設計関東支社一級建築士事務所
- 常陸側工(株)一級建築士事務所
- 日立土木(株)一級建築士事務所
- (株)フケタ設計 茨城事務所
- 藤井設計
- 富士崎建築設計室
- 一級建築士事務所藤和建設(株)
- (有)本澤幸一建築設計室
- (合名) 樹屋商店
- (株)増山栄建築設計事務所
- (有)丸山建築デザイン研究所
- (株)三上建築事務所
- (有)宮本建築アトリエ
- (有)ムーブ建築設計事務所
- 安田建築設計室
- (株)ヤマト建築設計事務所
- 山本工務店一級建築士事務所
- 結設計事務所
- (有)横島建築設計事務所
- (株)横須賀満夫建築設計事務所
- (株)吉田工務店
- (株)四方建築設計事務所
- (株)リ・ライフ一級建築士事務所
- (株)若柳建築事務所
- 和田建築設計事務所

賛助会員

三興電気(株)

(有)アカオギ塗工

飯島木工(株)

(株)ニシノ清塗工

(株)山忠

アイジー工業(株)関東営業所

(株)東屋

(株)アルク

(株)安心確認検査機構

(株)EMI 確認検査機構

茨城県建設解体業協同組合

茨城弘報(株)

茨城サニット(株)

茨城寺岡オート・ドア(株)

植田防水工業(株)

大泉砕石(株)

(株)岡村地質

(株)角藤水戸支店

元旦ビューティー工業(株)千葉営業所

(株)関電工 茨城支社

(株)関東エンジニアリングサービス

関東総建(株)

共栄鉄筋工業(株)

検査開発(株)

光商建材(株)

(株)広報社

小西(株)

コンフォートテック(株)

(株)佐々喜建工

三協立山(株)三協アルミ社 茨城支店

(株)三誠 茨城営業所

三和シャッター工業(株)水戸統括営業所

清水建設(株)

(株)ジャパンエコーサービス

ジャパンパイル(株)東関東支店

(株)新日東

(株)須藤黒板製作所

清和工業(株)

センター電機(株)

総合資格学院 つくば校

第一熱学建設(株)

高橋商事(株)

(株)長寿荘ホテルテラスザガーデン水戸

千代田工営(株)

(株)千代田興業

(株)デバイス

常磐地下工業(株)

トキワ通信工業(株)

中川理水建設(株)

ナブコシステム(株)茨城支店

(株)奈良屋

ニチハ(株)水戸営業所

(株)根子左

根本電興(株)

能美防災(株)茨城支社

ハタヤ商事(株)

(株)塙商事

(株)日立ビルシステム

(有)平井情報デザイン室

(株)フジクリーン茨城

(株)フジタビジネスマシズ

(株)文化メディアワークス

(株)北雄産業

北海道パーケット工業(株)水戸営業所

前田製管(株)茨城支店

(株)松本総建

(株)萬道総業

三谷セキサン(株)茨城営業所

ミナト防災通信工業(株)

(株)メディアクロス水戸

矢作建設工業(株)茨城出張所

りんかい日産建設(株)水戸支店

YKKAP(株)

和知商事(株)

マップ





発行者 一般社団法人茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791

<http://www.i-jk.org>

編集 第39回建築士事務所全国大会（茨城大会）

大会実行委員会 企画・広報部会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷 株式会社あけぼの印刷社

発行日 平成27年10月16日